

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

### 【事例概要について】

● ●

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ   |
| 2. 体験した事例の名称    | 訓練中（障害突破）、懸垂降下準備をし停止ラインに出たところ、足が滑り落下寸前になった事例。           |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 当日の天気が雨であったこと。また、日頃、使用していた訓練塔ではなく、市外訓練という不慣れな訓練塔であったこと。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 雨天訓練の経験がなかったこと。訓練前に隊員間で安全確認をしてはいたが、思っていた以上に条件が悪かったこと。   |

### 【体験した事例の直接的原因について】

● ●

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

### 【体験した事例について】

● ●

|                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 20 年 6 月 29 日 午前 11 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 雨                         |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：                       |
| 4. 体験した事例の種類                     |                           |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。     |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 墜落・転落                     |
| 7. 事例体験時の活動                      | 演習訓練 [ 救助（大会に向けた訓練） ]     |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか        | 降下訓練                      |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                  |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                      |   |
|----------------------|---|
| ○当事者A                | 年齢[29]歳、 勤続年数[6]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [ ] |
| ○当事者B                | 年齢[29]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[2]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [ ] |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]      |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |   |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が  | なにをした                       | その他・備考など |
|------|--------|-----------------------------|----------|
| 経過1  | 救助隊員   | 障害突破訓練を開始する                 |          |
| 経過2  | 当事者A・B | ロープ渡過を渡り終える                 |          |
| 経過3  | 当事者B   | 降下準備をし、停止ラインへ出る             |          |
| 経過4  | 当事者A   | 降下準備をする                     |          |
| 経過5  | 当事者B   | 停止ラインで足を滑らせ、体が逆さになり宙吊り状態となる |          |
| 経過6  | 当事者A   | 様子がおかしいことに気づき、下を覗き込む        |          |
| 経過7  | 当事者A   | 当事者Bの腕をつかみ上げ、降下姿勢に復帰させる     |          |
| 経過8  | 当事者B   | 降下姿勢復帰後、通常通り降下する            |          |
| 経過9  |        |                             |          |
| 経過10 |        |                             |          |

【その事例発生時の状況について】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険情報を把握、予見できた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。    | いいえ |

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# 事故発生状況図

(天候:雨)

